

北海道で初めての開催！ 苫小牧港カーボンニュートラルレポート検討会

北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課
苫小牧港管理組合 総務部 港湾政策室 政策推進課

令和4年1月24日(月)、北海道開発局と苫小牧港管理組合は共同で事務局を運営し、「第1回苫小牧港カーボンニュートラルレポート検討会」を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のためWEB方式にて実施し、30の関係団体、民間事業者及び関係行政機関等の皆様に参加いただきました。

はじめに、苫小牧港管理組合管理者である岩倉博文 苫小牧市長より、「2050年カーボンニュートラルが国内外において宣言され、官民ともにゼロカーボンに向けた動きが活発化している。同時に国土交通省港湾局等においてCNPの形成が推進され、本検討会の開催につながった。港湾オペレーションにおいてCNPとどう向きあっていくかということが、四面を海に囲まれた日本において重要なミッションになると考えている。皆様からの忌憚のないご意見をいただき、この北の大地、苫小牧港においてカーボンニュートラルにチャレンジしたい。道内の港湾では初めての動きとなるため重要な検討会になると考えており、皆様とともに、しっかりと、CNP形成計画策定のための検討会にしたい。」と、開会の挨拶がありました。

続いて、事務局より、「苫小牧港は国内第4位の海上取扱貨物量を扱うとともに、その背後地に広大な工業団地を有し、エネルギー関連産業をはじめとする多くの企業が立地する国際拠点港湾である。このような環境下にある苫小牧港において、カーボンニュートラ

ルレポートの形成を推し進めることは、北海道はもとより我が国のカーボンニュートラルの実現に向け重要であるとの認識から、苫小牧港カーボンニュートラルレポート形成計画の策定に向けた検討会を開催するものである。」と検討会の開催趣旨と開催要領が説明されました。

また、西園北海道開発局港湾空港部港湾計画課長より、「国土交通省におけるカーボンニュートラルレポート形成に向けた取組について」として、昨年12月に公表となった「CNPの形成に向けた施策の方向性とCNP形成計画マニュアル(初版)」の説明があり、引き続き、苫小牧市産業経済部港湾・企業振興課の力山課長より、「苫小牧におけるゼロカーボンと産業振興の取り組み」として、令和3年8月苫小牧市ゼロカーボンシティへの挑戦の宣言、苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会の活動内容、地域産業振興の今後の取り組み等の説明のほか、現在進められている苫小牧市をフィールドとしたNEDO事業の取り組みについて紹介がありました。

議事の最後に事務局より、今後の進め方として、苫小牧港CNP形成計画の策定期間について、今回を含め、検討会を5回程度開催した上で、令和5年3月策定を目指すこと、計画策定後は進捗管理等の計画のフォローアップを実施する予定であることの説明とあわせて、参加する皆様へ今後のヒアリング・アンケート



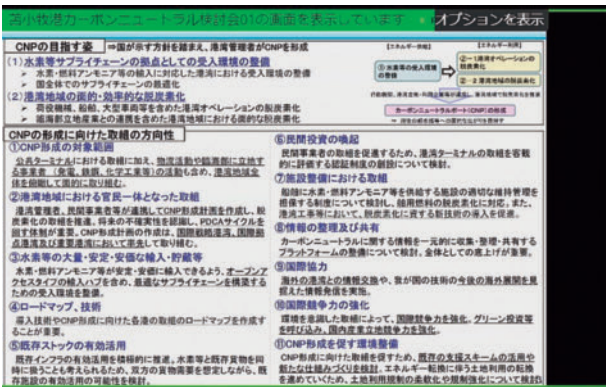
苫小牧港カーボンニュートラルレポート検討会の模様(WEB方式)



開会挨拶(岩倉 小牧市長)

トへのご協力や、検討会における積極的なご意見、ご発言への協力のお願がありました。

終わりに、魚住北海道開発局港湾空港部長(代理：西園港湾計画課長)より、「港湾地域の脱炭素化に向けて、水素・燃料アンモニア、LNG も含めたサプライチェーンの受け入れ環境の整備、港湾荷役機械など港湾オペレーションの脱炭素化及び臨海部産業との連携により港湾地域で面的な脱炭素化を図ることによるCNP形成の目指す姿が示されるよう、北海道開発局も港湾管理者によるCNP形成計画の策定をしっかりとサポートしていきたい。」との挨拶で閉会しました。



国土交通省におけるカーボンニュートラルポート形成に向けた取組みについて(西園北海道開発局港湾計画課長)

令和3年秋の褒章伝達式を開催しました

北海道開発局 釧路開発建設部

令和3年秋の褒章受章者が10月26日の閣議で決定され、11月3日付けで発令されました。そのうち、北海道開発局からの推薦で、「株式会社濱谷建設」(釧路市港町)が緑綬褒章を受章され、12月8日に褒状の伝達式を行いました。伝達については、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本省での伝達式、皇居での拝謁が中止となったことなどから、釧路開発建設部での伝達式開催となりました。

濱谷建設は20年間継続して釧路港内において清掃活動を実施し、地域の環境美化保全及び環境意識向上に貢献してきた功績が認められたものです。

伝達式において、井上釧路開発建設部長から褒状の伝達を受けた代表者の濱谷社長は、「先代からの意思を引き継ぎ継続してきたものであり、光栄です。今後も益々研鑽し、企業として社会貢献に邁進して参りたい。」と受章の喜びを語っていました。



左から2人目が受章された(株)濱谷建設の代表の濱谷社長



釧路港での清掃活動状況